

【石田三成掟書】

定

（佐治）
さ地

一、自分并給人知行之百姓つめ夫
之儀、可令用捨候、自然給人其外下々ニ
よらず、百姓ニたいし不謂族於在之者
可申来、聞届有様ニ糺明をとげ、其上
不相届輩可加成敗事、

一、年貢米納所之刻、其所より三里
之内、百姓可持出、龜山并京都江だ
ちん之儀、如先々たるべし、次知行方之
百姓はしり、他所ニ於在之者、誰々雖
為知行、かゝえ置百姓同前ニ可成敗事、
一、領知方納ますの儀、有様之京升遣
之間、給人も代官も無相違可納事、
已上

（貼紙）「石田治部少輔三成禁制」

（一五八九）
天正拾七年十月六日 治部少輔（黒印）

※黒印印文「藤原三成」